

青森県ユニバーサル農業推進方策の概要

方策の策定趣旨

- 農福連携の取組を次のステージへ引き上げるため、障がい者をはじめ、生きづらさを感じている者、高齢者を含む多様な人々が従事できる農業の実現に向け、効果的な施策や推進体制の整備などに取り組む
- 誰もが農林水産業で働くことができる環境づくりに取り組むほか、高齢者や障がい者が安心して暮らす共生社会を実現するため、農福連携の促進により障がい者等の活躍促進に取り組む
- このため、農福連携の実践者や行政のほか、農業、福祉、商工、教育、消費者等の関係者が共通の認識を持って推進していく必要があることから、令和6年度～令和10年度の今後5年間の取組方向を定める「青森県ユニバーサル農業推進方策」を策定

目指す姿

- 多くの農林水産事業者が取り組む環境を整え、障がい者等が担い手の一員として活躍している姿
- 障がい者等が、農林水産業の一端を担い安定的な収入を得て、自立に向かい、生きがいを持って暮らす姿
- 一般県民にユニバーサル農業が浸透し、ノウフク関連商品が選ばれている姿

ユニバーサル農業の定義

障がい者をはじめ、生きづらさを感じている者、高齢者を含む多様な人々が従事できる農業

推進事項と主な取組内容

1 ユニバーサル農業の理解促進

- ・ 県HPやJA広報誌等を活用した情報発信
- ・ 取組内容や方法を紹介する研修会等の開催
- ・ 障害者就労施設や農業者の優良事例の紹介
- ・ JAによる取組の普及
- ・ 農業者や福祉事業所との交流会の開催
- ・ 農業者が委託できる農作業の切り出し
- ・ ユニバーサル農業の検証
- ・ 農、林、水産業のチャレンジ農福の拡大
- ・ ユニバーサル農業に取り組むためのガイドブックの作成

2 ユニバーサル農業を進める体制づくり

- ・ ワンストップ窓口機能の整備・強化
- ・ マッチング体制の強化について検討
- ・ 農業側と福祉側のマッチング人材の育成
- ・ 農作業受委託可能な福祉事業所の拡大
- ・ 障がい者が働きやすい環境整備に向けた補助事業等の活用支援
- ・ 工賃・賃金向上への支援

3 ユニバーサル農業の輪の拡大

- ・ ノウフクマルシェの開催
- ・ ノウフクJASの活用促進
- ・ 特別支援学校における農業実習の充実
- ・ 営農大学校や農業高校においてユニバーサル農業を学ぶ取組の推進
- ・ 障がい者雇用への理解促進と雇用拡大に向けたPR活動
- ・ 障害者職業訓練校における農業に関する技能訓練
- ・ ノウフク商品開発や6次産業化の推進
- ・ 林福、水福のモデル事例の創出
- ・ ひきこもり者や高齢者等対象領域の拡大

推進体制と役割分担

